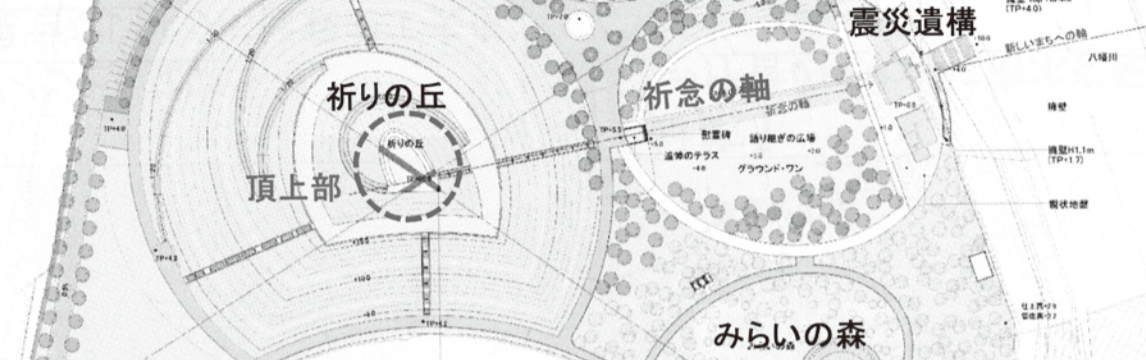


がんばろう
南三陸町
復興第56号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
志津川広報センター
企画・編集 千葉伸孝

追悼・継承・感謝そして未来を想像する協働の場



東日本大震災およびこれまでの自然災害による犠牲者を悼み(追悼)、震災の記憶と教訓を風化させることなく次世代に受け継ぎ(継承)、大自然への畏敬とともにその豊かな恵みを讃え(感謝)、復興をなしとげた町の未来の姿を人々とともに思い描く(想像)、

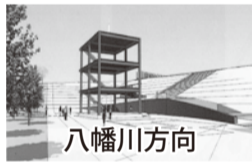
そのための場を人々の協働によって創りつづける。

「南三陸町震災復興祈念公園」の整備に関する住民説明会

10月5日(水) 役場2階大会議室

祈念公園の設計にあられた、奈良大学の宮城先生と計画的にかかわった吉田氏・小林氏も同席し、第2回目の計画案の説明が、住民30名余りが集まり開催された。

昨年の12月の1回目の説明会があり、「多くの皆様の意見をいただき、設計改善をした」と再提案された部分と共に、住民に理解しやすい動画映像と一緒に、宮城教授が、詳しく1時間余り説明をした。



八幡川方向

震災から20年間の県有化となり、遺族の皆様への感情に配慮し、海に向かって手を合わせる「祈りの丘」から、「海の軸」を神割崎方向にした。未来に向けて祈りを「震災を伝承」とし、築山までの坂を地震発生から津波襲来の「記憶の道」とした。

築山までは車イスも通れるようにスロープとし、100mで5mの勾配で、2人がゆったり歩けるように最大で2mの道幅の整備とする。祈念公園からの緊急時の避難場所は基本的には志津川高校とした。

記憶の広場にはメモリアル(レリーフ)を設置し、直径5mで、昔の街の1.5kmを400分の

1にして掘り込み刻む。

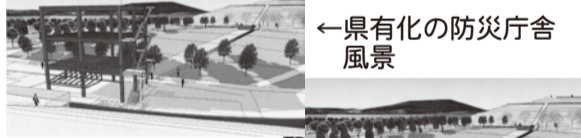
名簿安置のモニュメントは、築山頂上に建設され、紙に書いた名簿を桐の箱に入れ、モニュメントの中にカギを掛け納める。

祈念公園は宮城教授と設計会社とUR都市再生機構により設計整備され、防災庁舎は20年間の県所有にともない、2031年までは残る。祈念公園は慰霊よりも、祈念する事を目的とする。町民と町外から来られた皆さんと共に、森を整備する。

防災庁舎と基礎部分を震災遺構とし、川に向かい2ヵ所の献花台を施ける。2031年の県有化が終り、庁舎解体がされた場合の風景も絵画として示された。

「未来の森」はアプローチの森として、さくらを植え町を整備するが、町民参加の持続的な森づくりを目指す。こうした活動により未来の森への愛着を持ってもらうため、木にネームプレートをつけ、自分の木を育ててもらう事とした。

築山の「祈りの丘」にも、斜面の下にはスキのような植物を植え、上部は芝生を配置する。50分の説明の後で、集まった町民からの質問の時間とした。



←県有化の防災庁舎風景

防災庁舎、解体後の風景→

南三陸町のお出かけ支援と地域づくり懇談会に参加して

8月29日ポータルセンター

南三陸町の今後を考えた場合、ますますの人口減少と高齢化が進む中で、外出が困難な方が増加すれば、買い物や通院したくても、できない町になるかもしれません。

みなさんの「お出かけ」をどのように支えていくことができるのか、みんなで知恵を出しあう懇談会だった。

開催団体は特定非営利活動法人ワークスコープ南三陸事業所の川名所長が、これまでの南三陸町の活動報告と、どういった事が町



民に必要なことを伝えた。また、先進地として牡鹿半島たすけあいの会「寄らぬ牡鹿」の活動を紹介してくれた。

南三陸事業所の活動には無償運送(実費のみの利用者負担)で、基本として1k100円を想定していた。利用者の声には①年金生活なのでタクシーは使えない②町民バスが有料化され、バス停でしか止まらない③病院から退院したが通院の手段がない④親戚や近所の人だとかえって気を遣う⑤足が悪い等を話す。

今後の方向性として、ボランティアで継続するのは経営的にも厳しく、公に活動できる住民参加型の支えあいの仕組みが必要で、福祉関係者の方からも強い要望がある。



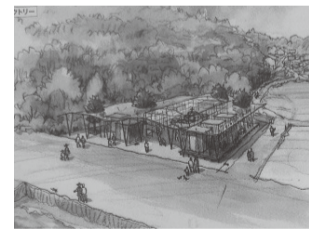
東日本大震災復興プロジェクト NPO法人「石巻・田代島しまおこし隊」 「9・29発会記念に参加して」



人口が現在は36人で、繁栄した時代は1300人が住んでおり、マグロが定置網で獲れ、遠洋漁業の拠点として漁業会社が沢山あり、島民も多くが漁船に乗り成功している。現在は島を離れて暮らしているが、島の場所土地は決して売らないと言う。平成元年まで島には小中学校があったが廃校した。石巻市田代島までは、石巻港の網地島ラインが島への交通手段で、船で1時間余りの離島です。

「猫神社」があり海外から猫の島としてメディアでも取り上げられている。今は人の数より猫が多く、その島の魅力に外国人も訪れている。インバウンドを求める国の政策で、こうした観光地のこれからの盛り上がり、石巻市も考えている。しかし震災復興が先のように、島の観光振興の団体として、NPO法人「石巻・田代島しまおこし隊」が参入した。隊長は町起こしを全国で展開する、早稲田大卒の猪狩建雄先生があたっている。人間的にも優しい素晴らしい人格で、先生をしたう仲間たちと共に、新たな島づくりを考案する。

島の重鎮だった尾形さんが、島の歴史を話してくれた。震災では門脇の家が流され妻を亡くした。「石巻焼きそば」の震災後の復興に参加し、「海華の会」の会員との出会いから、今回の活動が始まった。尾形さんは話す、多くの団体が島におこしに来たがお金が尽きて、みんな島を去って行った。だからこそ発会式では島おこし隊へ「最後までやって!」と、大きな期待をしている。尾形さんは昔から島に伝わる「田代島獅子保存会」の会長を務め、島の伝統を継承しようと、島に来る方々と田代島獅子踊の復活を願っている。



今後は空家活用の宿泊地を造り、レストランや漁業体験、カヤックや子ども達のウッドハウスなど、多くのメニューを準備している。猪狩隊長の仲間には、限研吾氏と同じ建築設計者の堀内先生がおり、インドネシアでの竹づくりの家を紹介し、多くの島おこしのポケットを持っている。設計会社の社長や造園家の方が顔を並べ、そのスタッフや支援者が全国から70名が集まった。その母体の会社は福島県出身で、造船・レストランなどで、アメリカンドリームを達成し、パラグアイの世界で一番の貧困の国の発展にも参画している。素晴らしい仲間の一員となり、共に新しい人達との出会いで、島おこし隊がスタートし、5年を目前に整備を進める。

現在は、一緒に島おこし隊として参加してくれるボランティアや会員を募集している。詳細については当社の方へ連絡下さい。

(TEL46-3069)

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成28年(2016年)
～ 地元報道より ～

5月の出来事

南三陸町

◇南三陸町商工会の総代会の席上、67人の優良従業員を表彰した。

南三陸町は出生や小学校入学児童がいる家庭に、世帯応援券(商品券)を本年度から始める。第1子に3万円・第2子に5万円・第3子以降は10万円とした。小学校入学は一律1万円した。出生児は59人、小学入学児童は90人を見込み、町独自の事業で8月から申請を受ける。町内の子育て世帯の経済負担を軽減し、人口減少の歯止めの対策として期待される。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

5月の出来事

気仙沼市

- ◆気仙沼市のマイナンバーのカード申請が7%にとどまっている。身分証としての利用が多く、普及はまだ程遠い。
- ◆気仙沼高校は文科省の指定を受け、講座を開いた。今後も地域のリーダー養成を目指し指導にあたる。
- ◆気仙沼市の融資制度は、市商工課によると27年度は223件18億3400万円と、運転資金などの需要増で、市の融資制度が事業所の再建を後押ししている。
- ◆気仙沼魚市場でマダイの水揚げが好調で、すでに昨年の3倍となっている。
- ◆気仙沼市古町・赤岩の両館共同事業の「おでかけ児童館」開催の利用が、震災前の2倍となった。保護者間の気軽な情報交換もあり、親子に笑顔が広がっている。
- ◆今季初のクロマグロの水揚げは、定置網の大谷3丁目網で、重さは60キロだった。
- ◆21日気仙沼湾で、震災犠牲者の冥福を祈る「海上供養祭」が行われ、100人が参加し船上から祈りをささげた。
- ◆ゴールデンウィークの観光入り込みが2割減少した。期間短く気候に恵まれなかった。気仙沼市内で12万7613人だった。

気仙沼市南町土地区画整備事業で、フードマーケット・飲食・物販・屋台村を一体化した、内湾に新商業エリアを整備する。30年にオープンを予定し、来月に出店者募集の説明会を開催する。

- ◆気仙沼市幸町4区が、「思い出を語る会」を開催し、60人が久々の再会で、今もなお心の通う時間となり、震災からの地区の復活のひと時となった。
- ◆気仙沼ハローワークで、気仙沼市内の高校生と企業の懇談会を開き、地元就職につながる取り組みを行った。

◇県内の市町村の高齢化率が発表された。28年3月31日現在、南三陸町は33.2%⑨(13717人中、高齢者人口4552人)、気仙沼市は35.2%⑦だった。①は七ヶ宿町で46.3%、女川町は37.4%となった。(○は県内順位)

◇南三陸町の中高一貫高校教育について、子供たちの学力の向上や社会性育成について連携強化し、今年度の乗り入れ授業の活発化に取り組む。南三陸町の出生数は、男36人・女43人の計79人で、昨年より17人増え、2年ぶりの増加となった。気仙沼市は男168人・女158人で計326人となり、昨年より57人減少した。

◇南三陸町・気仙沼市の認知症の人やその家族を支える「認知症サポーター」が増加している。南三陸町は総人口の18.8%で、約9ポイント増となり、980人となった。

◇豪州・ニュージーランドの商工会議所のメラニー・ブロック会頭らは、南三陸町図書館で記念植樹をし、末永い交流を誓った。町図書館は両国の支援で再建され、ベイサイドアリーナ脇に建設された。

- ◆気仙沼市内で女生徒への声がけや撮影など、男性50～60才の不審者情報が相次いだ。
- ◆気仙沼市は11日を「防災を考える日」と防災計画に盛り込む。
- ◆春季高校野球県大会で、気仙沼の東稜高校が仙台育英を下し決勝へ。決勝では東北高校を延長10回で、3対2で9年ぶりに優勝した。
- ◆気仙沼市はセブンイレブンと高齢者の異変の通報など、見守り協定を結んだ。店内の販売や商品の配達時で、高齢者の異変など、救急車の連絡や手配などの見守り体制を整える。

気仙沼市杉の下地区は、東日本大震災で3分の1の住民が亡くなった(93世帯312人中93人が犠牲に)。震災の真実を一冊にまとめた「永遠(とわ)に～杉の下の記憶」を発刊した。遺族会・佐藤会長・小野寺さんが、60人の証言と写真で当時の事をつづった。

- ◆今シーズンのサンマ漁獲量を、昨年と同じ26万4千トンと水産庁が決めた。
- ◆唐桑町観光協会は、昨年度の体験学習や教育旅行の受け入れは千人に留まった。
- ◆気仙沼魚市場のカツオの初水揚げがあり、巻き網で50トンと相場は祝儀価格となった。昨年より20日程遅い。
- ◆気仙沼市の鼎が浦高校の跡地に、記念碑が建立された。

6月の出来事

- ◆気仙沼市の小中学校の仮設住宅の退去が進み、3校(大島中・小原木小・中井小)が前倒しで解体する。入居者の理解も得られ、校庭使用は新年度から。
- ◆気仙沼市は市内の障害者就労施設からの物品購入を進め、年々購入額が増加し、需要拡大に一役かっている。
- ◆18歳選挙権は水産高校の実習船に、乗船中は投票ができない。気仙沼向洋高校は帰港日の関係で今度の参院選には影響はない。
- ◆気仙沼市唐桑の国道45号の只越トンネル付近

志高の伝統永遠に



9月2日

先月2日は志津川高校の旭が浦祭恒例の「仮装行列」が、文化祭の先頭を切り告知の意味を込め、志津川高校の高台からさんさん商店街までの短い距離ながら、生徒たちが交通指導隊に守られながら、被災地の中を練り歩いた。生徒達の元気な声と共に、見物の町民からも声が贈られていた。仮装の列は短いけれど「志高魂」は、被災した今も息づいている。

震災前は駅前商店街からスタートし、沿道には町民や高校生の家族が、生徒である我が子の雄姿を見たり、映像に収めたいと集まっている中を通り、町内を仮装の行列が数時間掛けて廻っていた。

今後も永遠に志津川高校の伝統を町民と共に見守りたい。

で、16日に体長1mのクマが目撃された。

気仙沼市の税収が27年度は62億2千万円(予想)となり、震災後最高となった。事業所の再建で個人所得が増加し、住宅再建による固定資産税収など、市民税が増加し、住宅再建による固定資産税収など、市民税が4割を占める。ちなみに22年度の決算では65億5千万円で、23年度は42億5千万円まで落ち込んだ。

◆気仙沼市の「南気仙沼少年剣道会」は、県道場少年剣道大会小学生団体の部で、54チームの参加でベスト16に入り、特別枠の14チームにも入り、全国大会に出場する。団員不足による存続の危機を乗り越え、10年ぶりに全国大会に出場する。

◆気仙沼市本吉町の「はまなすホール」で、プリンセス・プリンセスの岸谷香さんがライブで、被災地の皆さんに元気を与えた。

◆気仙沼市は7月4日から、所有者が活用を希望する物件200件を、定住者や復興事業者に住宅確保として活用する「空き家バンク」をスタートする。市は定住促進として住宅の仲介をする。

◆水産庁は南三陸沖のカツオ漁の、長期来遊資源動向予想を発表した。過去10年平均を下回り、生鮮カツオ水揚げ20年日本一は厳しい状況となる。

◆気仙沼署での運転免許証の即日交付が、7月1日から平日と第2日曜となる。

◆気仙沼市の鹿折金山資料館の5周年記念として、18年ぶりに里帰りする。鹿折金山で産出されたモンスターゴールドは、現在茨城県つくば市の地質標本館が収蔵している。モンスターゴールドは、2.25kで金含有率は83%で、すでに6分の1に分割されている。

◆東京海洋大では気仙沼の水産物PRのために、都内にオフィスを開設し、販路拡大や観光促進に期待をよせている。

◆気仙沼市教育委員会の新城小と月立小の統合について、月立小の地区懇談会では月立小の保護者・地域住民とも、反対意見が大勢を占めた。

◆気仙沼市の三陸道の「気仙沼湾横断橋」の橋脚2基が完成し、7月1日からライトアップする。三陸道の31年度供用へ着々と工事が進んでいる。

千葉印刷年賀見本

◎他にもカラー等あります

E-5

謹んで新春のお慶びを申し上げます

R-17

賀新年

B-23

謹賀新年

B-36

新春を寿ぎ、お慶びを申し上げます

B-39

新春を寿ぎ、お慶びを申し上げます

E-9

迎春